



南島原市から世界遺産を！

長崎の教会群とキリスト教関連遺産

天正遣欧少年使節 4 少年の生涯 「中浦ジュリアンの生涯」

中浦ジュリアン（1568〜1633年）は、西彼杵半島の西海岸の中浦で生まれ、この中浦は、「大村郷村記」に「小佐々家代々の領地」と書かれているとあり、当時、五島灘海域を支配し、「小佐々水軍」と呼ばれた戦国領主小佐々家のものだった。ジュリアンは、一部には中浦城主の子「小佐々甚吾」ではないかという説もあります。西海市中浦には、彼の生まれた地を記念して「中浦ジュリアン記念公園」があります。

ジュリアンは、ローマから帰った後も、ほかの3人と天草の修練院で司祭になる勉強を続けました。1601年には、マンシヨとともにマカオに渡り神学を学び、1604年に日本に戻ると、京都、博多でキリスト教を広める活動（布教）を一生懸命続けます。その努力が認められ、1608年には夢だった司祭となり、博多の教会で働くようになります。

その後、口之津などを主な活動場所として、隠れながら陰で布教活動を行っていたジュリアンでしたが、1632年、小倉でついに捕まります。ジュリアンは、長崎に移されました。処刑のため、1633年10月18日、長崎のクルス町（現長崎市役所別館）の牢から西坂の刑場に入るときに、代官に向かって言った彼の最後の言葉が有名です。「私はローマへ行った中浦ジュリアン神父である」

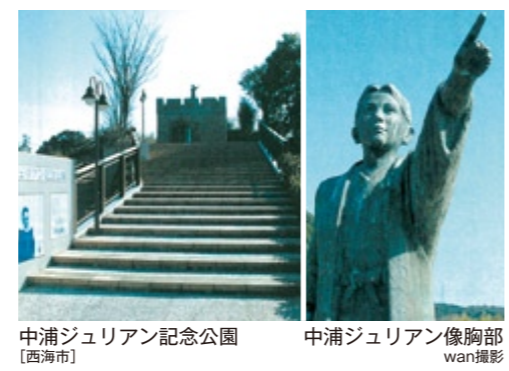
その後、口之津などを主な活動場所として、隠れながら陰で布教活動を行っていたジュリアンでしたが、1632年、小倉でついに捕まります。ジュリアンは、長崎に移されました。処刑のため、1633年10月18日、長崎のクルス町（現長崎市役所別館）の牢から西坂の刑場に入るときに、代官に向かって言った彼の最後の言葉が有名です。「私はローマへ行った中浦ジュリアン神父である」

明日の世界遺産

THE TOMORROW'S WORLD HERITAGE
CHAPTER.23

子どもたちにもわかるよう“ふりがな”、“簡単な言葉”で紹介しています。

中浦ジュリアンの出生



中浦ジュリアン記念公園 [西海市] 中浦ジュリアン像胸部部 wan撮影

天正遣欧少年使節の中で唯一の殉教者となった「中浦ジュリアン」を特集します。

ローマにつき、ローマ教皇への正式な謁見（会謁）の直前、ジュリアンは高い熱が出て、謁見ができませんでした。しかし、教皇グレゴリウス13世のはからいで、非公式にはありますが、謁見することにできます。彼の喜びは相当なものだったに違いありません。

その後、口之津などを主な活動場所として、隠れながら陰で布教活動を行っていたジュリアンでしたが、1632年、小倉でついに捕まります。ジュリアンは、長崎に移されました。処刑のため、1633年10月18日、長崎のクルス町（現長崎市役所別館）の牢から西坂の刑場に入るときに、代官に向かって言った彼の最後の言葉が有名です。「私はローマへ行った中浦ジュリアン神父である」

穴吊りの刑というものでした。クリスタンにキリスト教を捨てさせる（棄教）ために、苦しみをひたすら与えるひどいもので、ジュリアンは、10月21日に棄教することなく死亡しました。遺体は焼かれ、灰は長崎港の海にまかれました。なお、ジュリアンは、4人の中で一人だけ、2008年に長崎で行われた列福式で、福者という特別な地位を与えられています。



世界に羽ばたく島原半島ジオパーク

島原半島ジオパークを楽しむために



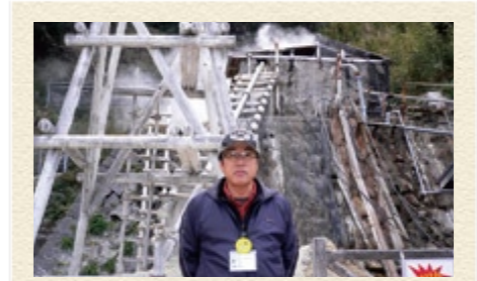
～ 市民誰もが“ジオガイド”第5回「小浜歴史資料館」～



築160年の本多湯太夫邸宅跡。1614年から代々小浜温泉を守ってきました。



源泉からは、100℃前後の温泉が自噴している。



資料館の草野起陽(くさのたつはる)さんです。小浜温泉の歴史をわかりやすく説明してくれます。



源泉のパイプ清掃の時に排出される温泉成分のアラレ石（CaCO₃）です。地下深くでは、高温のため溶けていたCaCO₃が、パイプを通るときに温度が下がり、溶けきれなくなって結晶となったものです。自由に持ち帰ることができます。

小浜歴史資料館
雲仙市小浜町北本町923番地1
☎0957 (75) 0858
●入館料…小学生以上100円
●開館時間
午前9時～午後6時（3月から11月）
午前9時～午後5時（12月から2月）

世界ジオパークネットワーク

島原半島が、平成21年8月に日本第1号で加盟が認められた世界ジオパークネットワーク（以下GGN）を紹介します。ユネスコの支援により、2004年にヨーロッパや中国を中心に設立されました。GGN事務局はフランス・パリにあり、現在は世界25カ国77地域が加盟しています。平成22年10月には山陰海岸が加盟し、日本では、

私たちの島原半島ジオパークも含め、4地域が加盟しています。現在、高知県室戸がGGNの平成23年加盟を目指して申請手続中であるなど、全国でGGN加盟に向けた取り組みが広がっています。また、GGNの加盟地域は、貴重な自然を保護するだけでなく、その自然を観光や教育など地域振興に活用することが義務付けられています。第5回ジオパーク国際ユネスコ会議が、平成24年5月に島原半島で開催されます。世界中のジオパーク活動を行う国々からの参加が予想されます。島原半島の魅力を世界中に発信する絶好の機会です。皆さんの協力をお願いします。